

「金曜日はパンの日」限定パンで消費拡大キャンペーンを展開

山梨県パン協同組合（小野曜理事長 組合員 14 社）は、新型コロナウイルスで落ち込んだ県内の消費・購買意欲を活気づけるため、組合員の店舗で昨年 12 月 17 日から今年の 1 月 28 日にかけて、「金曜日はパンの日」のキャンペーンを実施した。

実施にあたっては、山梨県の「やまなし地域産業活性化プロジェクト支援事業費補助金」を活用した。

この補助金は、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ県内事業者団体が新たに実施する消費喚起や需要拡大を図る取り組みに対し交付するもの。

キャンペーンの目玉はスタンプラリーで、期間中にスタンプを集め応募をすると抽選で 100 名に県産品をプレゼントする企画とした。

また、対象の金曜日には参加した各店舗で工夫を凝らした限定パン（通称：金パン）を販売。

限定パンは、組合が包括的連携協定を結んでいる山梨学院短期大学の学生と取り組んでいるレ

シピを参考したほか、組合が地産地消の促進として普及を目指す県産小麦の「かいほのか」の使用や県内の農産物加工者から食材の提供を受けるなど、商品化には地域のものにこだわった。

参加した組合員企業は 11 社で、丸十山梨製パン（甲府市）は県産もろこしを使った「ウインナーとスイートコーンマヨネーズ」、コーナーポケット（韮崎市）は、ジャムにしたゆずと地元醤油を使った「富士川町産ゆずジャムのストロイゼル」と「井筒屋さんのネギ味噌パン」を販売した。

今回行ったキャンペーンのスタンプラリーには、169 通の応募があり、当選者 100 名に山梨県産のワイン、ジュース、ジャムが贈呈された。

組合は、今後も「金曜日はパンの日」の普及・定着を目指し、学生のアイデアを取り入れた限定パンの新商品開発や地域の農産物加工業者との連携を強化して事業を継続したいとしている。

山梨県パン協同組合

